

川西文化会館・川西町中央公民館視察結果**1 視察概要****(1) 視察日時**

令和3年12月13日（月）14時から15時30分まで

(2) 視察者**ア 委員**

大藪副委員長、池嶋委員、石井委員、寺井委員、坂口委員及び宿久委員

イ 事務局

教育委員会事務局 生涯学習文化財課長 尾崎及び同課係長 寺田

2 立地環境**(1) 所在地**

奈良県磯城郡結崎32番地1

(2) 立地環境

役場、図書館、文化会館及び公民館が一体的に整備されている（役場建物及びけやきホールが一体の建物で、文化会館及び図書館の建物とは別棟となっている。）

道路を挟んで南側に保健センター、同じく北側に幼稚園、東方に小学校、近接に中央体育館や運動場があり、公共施設が集約されている。

3 建物**(1) 外観**

鉄筋コンクリート造の本瓦葺で土蔵のようなイメージ

図書館及び貸室部分とホール部分で構成されている。

中央部分に中庭的な多目的広場があり、石造の能舞台（上屋なし）が設置されている。

(2) 1階部分**ア エントランス**

広くて明るい共通のエントランスがあり、パネル展示ができる。

川船の資料展示、壁面に文化協会の作品展示やパネルによるポスター掲示が行われている。

イ 創作室

シンクが設置され、水を使用する活動も可能となっている。

ウ 料理実習室

実習卓を6卓+講師用実習卓

エ 学習室

図書館利用者カード所有者を対象とした学習室

オ 図書館

閲覧室（一般書）、書庫及び事務室）

カ 事務室等

管理部門だけでなく教育委員会事務局となっている。

(3) 2階部分

ア サークル室

4室（A～Cは、パーティションで区切られており1室として利用可能）

イ 和室

3室（うち1室茶室機能、大広間は、パーティションで2室に分割可能）

ウ 木育広場

木製ボールプール、杉板張のギャラリー及びグランドピアノが設置され、イベントに活用可能（後から設置）

エ 授乳室

木育広場に併せて設置

オ 図書館

閲覧室（児童書）

(4) ホール（コスモスホール）部分

ア ホール形式

プロセニウム型ホール

舞台裏に廊下があり、上手側と下手側を行き来できる。

反響板は吊物、緞帳は、飛ばし上げタイプ

イ 定員

390人

ウ 楽屋

3室

エ 控え室

1室（舞台下手側に設置）

オ ピアノ庫

スタインウェイ製グランドピアノ

(5) ホール（けやきホール）

ア ホール形式

平土間型ホールで、床は板張り（社交ダンスにも使えるよう、体育館の物より硬めの材質になっている。）

イ 定員

300人

パイプ椅子を並べて使用

※ 視察時は、ワクチン集団接種対応のため、シート敷き込みされていた。

4 施設概要説明

(1) 建築年

平成8年建築で、25年が経過している。

部分改修は行っているが、大規模改修工事は行われていない。

(2) 施設の位置付け

各種学習、交流、文化活動の拠点としての位置付け

5 文化会館部門職員体制

3人（館長1人、ホール・イベントスタッフ2人）

※ ホール・イベントスタッフは正職員の舞台要員であるが、一般事務も行う。

6 質疑

・委員

Q. 建設費はいくらかかっているか

A. 建設事業費（用地、設備、備品を含む。）34億9500万円。うち、用地は2億4000万円であった。

Q. 町全体の予算額は？

A. 47億3千万円である。

・委員

Q. 登録団体の減免は、利用料が1/10負担と聞いていたが。

A. 登録団体は利用料を1/10としている。この金額は、ホール以外の部分で文化協会及びボランティア活動団体が該当する。ホールは、文化協会の発表会で年1回無料利用できる（設備使用料は有料）。団体の発表会に5万円補助するとともに、文化協会に対して年間25万円補助している。それぞれの会の運営は、補助金と会費でやりくりしている。

・委員

Q. 文化会館の歳入はいくらぐらいか。

A. 350万円入ってきているが、とてもではないが賄えない。

・副委員長

Q. 建設時のいきさつについて、また町民との話し合いの状況はどのようなものであったか。

A. ホールを建てたいというグループができ、けやきホールでチャリティーコンサートを繰り返し実施することから始められた。発表できる場を作って欲しいとの活動をもとに、町との話し合いが持たれ、検討会議で他のホールを視察し、話し合いがもたれた。ホールだけではなく、他の部屋や和室等も含めて、施設全般を話し合いにより決定された。

・委員

Q. 町と団体との協力体制が大切と考える。

A. 建てる前は、建てて欲しいという団体と町との話し合いが持たれた。

Q. 利用していない人を含む町民合意の取組はどのように行われたか。

A. チャリティーコンサートを行うにより、住民理解を得た。

Q. 文化ホールと会議室は、文化協会の利用があったか。

A. 文化協会の利用があったため、ホールを建てたいという団体だけではなく、文化協会との話し合いも行われた。

・委員

Q. 最初の要望から平成8年の開館までの期間はどの程度かかったのか。

A. チャリティーコンサートを5回開催しており、事前活動に5～6年かけ、町との話し合いに2～3年、開館まで10年程度かかった。

・委員

Q. 以前、文化協会長から話を伺っていたところ、1990年頃から要望を出していたと聞いており、10年もかかっていないはずであるがどうなのか。

A. コンサート活動も含めると10年ほどかかっている。当時、文化協会では800～900人もの会員がいた。今は400人程度になっている。

・委員

Q. 建設費について、どのように資金確保をしたか。

A. 起債25億円（地域づくり事業）、一般財源9億円程度である。

・委員

Q. 文化協会長の話では、建てると思っていたら早く盛り上がり、建設が早かったと聞いたがどうか。

A. 準備段階が長かった。

Q. それは、トップの判断によるのではないか。

A. やると決まってからは早かった。

Q. どこでもやるとなったら早い。担当した職員の奮闘がうかがえる。

・委員

Q. 会館運営のやり方としては、町民が入っての運営なのか、また町だけなのか。

A. 職員2人とボランティアで運用（建設当時から）している。要望団体から20数人がボランティア登録し参加しており、今でも20人程度のボランティアがいる。

Q. 全ての舞台装置をボランティアが扱っているのか。

A. 基本的にボランティアが取り扱っている。

・委員

Q. （舞台担当者は）勤めてどれぐらいか。

A. 平成10年から勤務している。高校生の時にボランティア団体に入っており、話し合いにも参加していた経緯がある。

Q. 当時の担当課長の活躍が大きかったと聞いている。どのような方か。広陵町は、熱心な職員がいない。

A. 管理職を経て教育長をし、最後は副町長までした女性である。

Q. ホールのピアノも1千数百万、1,500万円と聞く。とても良い物であり、良い判断がなされたと考える。

A. 今では2,000万円程度するピアノで、使う前には調律をお願いし、ピアノ庫で温湿度管理を行っている。

・委員

Q. 文化協会の全ての団体がこの会館を利用されているのか。

A. この文化会館の西の方にある「ふれあいセンター」でも活動を行っている。

Q. 文化協会との意見交流は定期的に行っているのか。

A. 特に行っていないが、職員が役員の会議に入っているので話をしている。

・委員

Q. 川西町の人口予想は何人か。

A. 川西町人口ビジョンでは、2060年に6,000人以上の人口を維持することを目標にしている。









